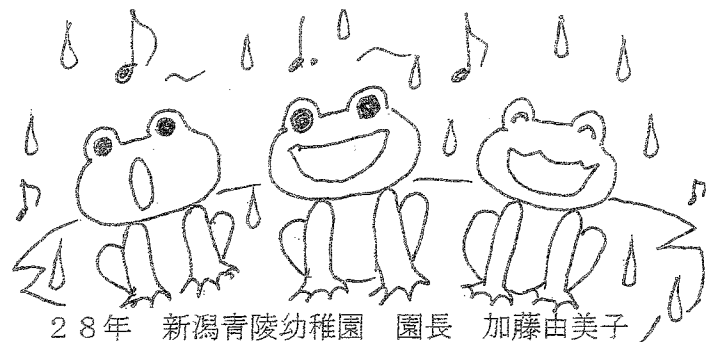


6月の園便り



幼稚園に遊びに来てくれた4年生の卒園児さん、時々遊びに来てくれます。

幼稚園に遊びにくると、元担任と話をしたり鬼ごっこをしたり、ひとしきり遊んでいきます。「『小学校は走り回る場所が無いし、先生は走らないから、幼稚園が羨ましい』とつぶやいていました」とお母さんが教えてくださいました。・・・そうですね、体育館はあるけど、学校は勉強が第一ですからね・・・心がすっきりするくらいに思いっきり走り回ることができる環境は、大きくなるにしたがってなくなっていきますね。本当は大きくなった子どもたちにとっても遊びはとても大事なもののなのです。大人がもう少し、子どもの遊びを大切に考えてくれるといいのですが・・・友だちと触れ合う直接体験が少なくなっている時代だからこそ、友だちと言葉を交わして、相手の思いを感じて、息遣いを感じながら遊ぶ、大げさに言う“生きていること・命”を感じながら一緒に遊んで、お互いの気持ちの食い違いやイメージの違いを、知恵を使って乗り越えることを経験して欲しいですね。困難なことを乗り越えるからこそ、お互いを“大好きな友だち”として、大切にしていけることができるのだと思います。子どもたちが心と心をつなぐ遊びは、画面を通したバーチャルの世界ではない実体験なのです。違う場所にいっても画面でつながってできるゲームがあると聞きました（アナログ人間にもほどがあるといわれそう）場所は違っても、一緒に遊んでいるような錯覚に陥ってしまうゲーム、でもそれは、友だちと本当に心がつながることではないですね。私には、ゲームに子どもたちが操られていて、子どもたちが「自分」を見失っているように思えます。

卒園児さんの昨年の夏休みの宿題の一言日記、最後のページは「すごく楽しかった！夏休み、サイコー！！！」この一行で締めくくられていたそうです。夏休みはサイコーなのですよ。だって、自分がやりたい（意義ある）ことを自分でやることで、しかも自分のペースでやっていくことができる、そういう日々がたくさ～んあるのですから・・・単に休みだからサイコーなのではなくて、自分が自分らしくいられるからなのです。これが主体性が育つもとです。主体的に生きることは人間にとって一番嬉しいことなのです。子どもたちが自分でやりたいこと（意義ある）ことをやることは、意欲をもって生き生きと生きる姿につながります。

ある精神科医が言われました。

「みんな 自分が自分らしくいられなくて、生きる意欲、生きる力、など持てなくなるように思えます。この状態はストレスが多い状態です。最近、患者さんが大人だけでなく、中学生や高校生もとても多くなっている、みんな自分らしくいられなくてストレスを抱えて困っているのです。」

6月の予定

日	曜	給食	降園時間	行 事
1	水	×	2:00	森の探検隊予備日です。お弁当をお持ちください。
2	木	○	2:00	
3	金	○	2:00	
4	土	×	11:30	自由登園日
5	日	/	/	
6	月	○	2:00	各学年1組歯科検診です。 実習生2年生が入ります。
7	火	○	2:00	各学年2組歯科検診です。
8	水	○	2:00	
9	木	○	2:00	
10	金	○	2:00	
11	土	/	/	第2土曜日
12	日	/	/	
13	月	○	2:00	
14	火	○	2:00	
15	水	×	11:30	誕生会、6月生まれさんの保護者の方と一緒に祝いましょう。
16	木	○	2:00	
17	金	○	2:00	
18	土	×	11:30	自由登園日
19	日	/	/	
20	月	○	2:00	
21	火	○	2:00	
22	水	○	2:00	プール開始、個人懇談が始まります。
23	木	×	11:30	個人懇談のため帰りの時間が早いのですが、よろしくお願いいたします。
24	金	×	11:30	個人懇談のため帰りの時間が早いのですが、よろしくお願いいたします。
25	土	/	/	第4土曜日
26	日	/	/	
27	月	○	2:00	短期大学部実習生が入ります。よろしくお願い致します。
28	火	○	2:00	
29	水	○	2:00	
30	木	○	2:00	